

三条地域振興局健康福祉環境部

モデル園：弥彦保育園（弥彦村）

実施期間：平成21年11月4日～平成22年3月10日

協力団体等：食生活改善推進委員、在宅歯科衛生士、村管理栄養士

お口げんき体操ワン・ツー・スリー（給食前のお口の体操）

○実施してみた○

対象：5歳児（33人）

CDに合わせて行ったので、体を動かすように喜んでお口の体操に取り組むことができました。

園児たちは、「パタカラの歌」を覚えると自然に口ずさむようになりました。

よく^か噛んで食べるための習慣を定着する取組

対象：5歳児（33人）

○取組内容○

絵本や紙しばい

○実際に行ったこと○

日々の声かけと絵本や顔（お口）のパネルを使って、園児たちへ働きかけをしました。

○実施してみた○

園児たちは^か噛むことに対して、以前よりも意識を持つようになりました。

保育園の独自の取組

むし歯予防についての人形劇、歯科衛生士の講話

○実際に行ったこと○

対象：5歳児とその保護者（47人）

- 1 食生活改善推進委員による人形劇 「むし歯予防について」
- 2 歯科衛生士による講話 「むし歯予防とブラッシング指導」
 - ①親子に向けた講話
 - ②保護者に向けた講話

○実施してみて○

食後のブラッシングを時間をかけて丁寧に取り組むようになりました。

事業全体を振り返って

保育園で口腔ケアと食育の働きかけを一緒にすることで、園児の口腔機能の向上や生活習慣等に変化がみられたことから、次年度も村独自の事業として継続実施されています。

咀嚼力判定ガムを噛んだ結果を見ることができたり、お口の体操をすることによって、園児たちは噛むことに意識が持てるようになりました。

保護者へ結果を知らせたり、家でも出来ることを知らせたりするなど、家庭でも取組ができるといいと思います。